



国連生物多様性の10年

(お知らせ)

平成28年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰について

平成28年4月14日(木)
環境省自然環境局国立公園課
国立公園利用推進室
(代表: 03-3581-3351)
(直通: 03-5521-8271)
室長: 田邊 仁 (内: 6641)
担当: 濱尾 彰久 (内: 6644)

環境省では、自然環境の保全に関し、顕著な功績があった者(又は団体)を表彰し、これを讃えるとともに、自然環境の保全について国民の認識を深めることを目的に、平成11年度から毎年度、『「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰』を行っています。

平成28年度の表彰は、35件が選ばれました。

< 平成28年度の表彰数等について >

(1) 表彰数 35件(個人14件・団体21件)

※ 被表彰者名・功績概要は、別添のとおり。

(2) 対象分野

[1] 保全活動部門 (16件)

貴重な自然や身近な自然などの保全のため特色ある活動を推進した者等

[2] いきもの環境づくり・みどり部門 (6件)

地域における野鳥や小動物の生息環境の創出、あるいは日々の暮らしの中でのみどりの普及等を推進した者等(事業者、学校等を含む)

[3] 自然ふれあい部門 (8件)

自然とのふれあいに関する各種活動や行事を推進した者等

[4] 調査・学術研究部門 (5件)

自然環境の保全・創造や自然とのふれあいに関する調査、研究で顕著な功績がある者等

(3) 表彰式 日時: 平成28年4月20日(水) 14:00~14:30

場所: 新宿御苑 インフォメーションセンター

(4) 取材について

表彰式は報道機関に公開で行われます。取材希望の方は、下記によりメール又はFAXにてお申し込みください。なお、表彰式の取材に当たっ

地球のいのち、つないでいこう

ては担当者の指示に従ってくださいますようお願いいたします。

- [1] 件名に「平成 28 年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰式取材希望」と明記してください。
- [2] 報道機関名、氏名（フリガナ）、電話番号、電子メールアドレス又は F A X 番号を記載してください。
- [3] 申込受付は、平成 28 年 4 月 15 日（金）17 : 00（必着）までとします。
- [4] こちらの返信を取材可能通知書といたします。当日は取材可能通知書を印刷の上、御本人確認できるものと合わせて必ずお持ちください。
- [5] 取材申込先

環境省自然環境局国立公園課国立公園利用推進室

電子メール : fureai_prize@env. go. jp F A X : 03-3595-1716

(別添)

平成28年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰
被表彰者

【保全活動部門(16件)】

〈敬称略〉

	被表彰者	功績概要
1	ユウパニコザクラの会 (北海道)	国の天然記念物である、夕張岳の高山植物群落及び蛇紋岩メランジュ帯について保全活動を行っており、平成9年の大量盗掘やエゾシカによる深刻な被害などにも粘り強く対応するなど自然環境の保全及び普及啓発活動を推進。
2	あおもりけんじゆもくいかい 特定非営利活動法人 青森県樹木医会 (青森県)	青森県内に多数ある巨木、古木、名木等の診断・治療をはじめ、永年、緑の重要性の普及啓発に取り組む。また内モンゴルの砂漠における植樹を行うなど、自然環境の保全及び普及啓発活動を推進。
3	しみず きよし 清水 清 (岩手県)	岩手県自然公園保護管理員として三陸復興国立公園内重茂半島地区を担当し、年100日間草刈や清掃等の美化活動のほかに、倒木等の障害物の除去等を行うなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
4	あべ きょうこ 阿部 恭子 (秋田県)	永年にわたり十和田八幡平国立公園(八幡平地区)の高山植物の保護のためのパトロールや登山者等へのゴミ持ち帰り呼びかけ、外来種駆除活動を行うなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
5	よこねこうげんほぜん・かつようきょうぎかい 横根高原保全・活用協議会 (栃木県)	横根高原において動植物調査を年間122日、延べ371人で実施し、その調査結果を『横根高原の動植物』、『花かおる横根高原』として刊行するなど横根高原の自然環境の保全及び普及啓発活動を推進。
6	ゆのまる ほぞんかい 湯の丸レンゲツツジ保存会 (群馬県)	湯の丸高原レンゲツツジ群落約60万株の保護活動やアツモリソウ、オミナエシ等の絶滅危惧種の保護活動を実施するなど、自然環境の保全及び普及啓発活動を推進。
7	おかもと やすお 岡本 安夫 (神奈川県)	環境省自然公園指導員として、丹沢二ノ塔 <small>にのとう</small> での森林再生事業や東丹沢 <small>すすがや</small> 煤ヶ谷水源林での里山整備活動など、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
8	ごせん 特定非営利活動法人 五泉トゲソの会 (新潟県)	日本のイトヨ属淡水型(イバトミヨ)の生息地の南限である新潟県五泉市において、19年間啓発と保全活動に取り組むなど、永年にわたり絶滅危惧種保護のための活動に尽力。

9	さとし 佐渡市 (新潟県)	平成15年度に島内10市町村が合併して現在の佐渡市となる以前の昭和50年代から、旧新穂村・旧両津市などを中心にトキの繁殖地への監視体制を整備など、トキの保全及び普及啓発活動を推進。
10	はやし たけお 林 武雄 (福井県)	福井県武生市、小浜市で永年にわたりコウノトリの保護活動に取り組むとともに、かすみ網による密猟取締り活動も行うなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
11	くらまひまつりほぞんかい 鞍馬火祭保存会 (京都府)	祭の松明などに使われるアカマツや、ツツジなどの低木類、フジの蔓などの多様な森林資源を持続的に活用できるよう、森林の保全・管理を長年にわたって進めるなど、自然環境の保全及び管理活動に尽力。
12	たきみがわ ほぞんかい 田君川バイカモ保存会 (兵庫県)	「バイカモは地域の宝」との認識のもと、地域で絶滅寸前であったバイカモ(兵庫県版レッドデータブック(植物)Bランク)の保護に取り組むとともに、周辺の環境の保全に努めるなど、自然環境の保全及び普及啓発活動を推進。
13	つちはしちくしんこうかい 土橋地区振興会 (岡山県)	国内希少野生動植物種に指定されている「ウスイロヒョウモンモドキ」の保護のため、専門家と連携して、勉強会の開催や幼虫のえさの確保のため生息地域の草刈りなどを行い、自然環境の保全及び普及啓発活動を推進。
14	まつおか よしゆき 松岡 嘉之 (鳥取県)	鳥取県伯耆町で自ら経営する休憩所において、公園利用者に対して自身の関心の高いチョウの写真の展示などを行い、大山の自然環境や希少性の発信及びマナーの向上を図るなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
15	くまがえ のぶたか 熊谷 信孝 (福岡県)	平成3年の台風により甚大な被害を受けた英彦山 ^{ひこさん} ブナ林の再生活動を進めているほか、福智山地に自生するエドヒガンの実態調査や県内最大の「虎尾桜」 ^{とらおざくら} の保護に取り組むなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
16	なかお としお 中尾 登志雄 (宮崎県)	霧島錦江湾国立公園えびの高原の自生地において、近年植生遷移、土壌浸食などから個体数の減少が見られていたノカイドウについて、その再生に向けた後継樹の保護・育成に取り組むなど、自然環境の保全及び普及活動に尽力。

【いきもの環境づくり・みどり部門(6件)】

17	ざおうちようりつひらさわしょうがっこう 蔵王町立平沢小学校 (宮城県)	5・6月には、学校林の下草刈り・枝下ろし作業のほか、春植え用の花苗を花壇やプランタに植栽する活動、7・8月には校庭の草取り活動、11・12月には秋植え用花苗の植栽と1年を通して校庭の花壇の管理やプランタへの植栽活動に取り組むなど、みどりの普及等を推進。
18	かわさき 川崎リバーサイドパーク(ゴルフ場) (神奈川県)	永年にわたり、河川敷等の緑化植樹・環境保全・緑化普及啓発の事業に協力するなど、みどりの普及等を推進。
19	よしのやまほしょうかい 公益財団法人 吉野山保勝会 (奈良県)	吉野山の文化的景観を構成するヤマザクラの植樹やその群落の保護育成等を行うなど、みどりの普及等を推進。
20	よなごやちようほご かい 米子野鳥保護の会 (鳥取県)	地域に密着した野鳥観察会の開催を通じた野鳥保護の啓発活動の他、50年近くブッポウソウの未確認地であった ^{ほうきちょう} 伯耆町丸山地区に、ヒナの飛翔訓練をする親鳥を確認し、その営巣地の確保のため、その近辺に巣箱を設置するなど生息環境の保護に尽力。
21	もっとやろうかい 本山会 (山口県)	山陽小野田市本山地区にある竜王山のヒメボタルや植物の環境づくり、自然環境保全活動を活発に行うとともに、自然と人がふれあうイベントや子どもたちの環境学習を長年にわたり実施するなど地域の野生動植物の生息環境の創出に尽力。
22	とくしまけんりつこまつしまこうとうがっこう 徳島県立小松島高等学校 (徳島県)	永年にわたり、小松島市横須海岸の松原への松の苗木の植樹活動を行い、地域住民やPTAとも連携しながら水やりや下草刈りの育樹活動も継続するなど、みどりの普及等を推進。

【自然ふれあい部門(8件)】

23	おかはな ひろふみ 岡花 博文 (北海道)	大雪山国立公園パークボランティア連絡会の組織運営に永年取り組み、パークボランティアの意識向上やスキルアップに貢献した。またその活動の一環として「パークボランティアのための大雪山国立公園自然解説マニュアル」を編集するなど、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力。
24	カタクリの会 (岩手県)	岩手県西和賀町で平成2年から毎月自然観察会を開催し、昨年12月には通算300回を数える。自然観察指導員の充実したプログラムによって開催される同観察会は、地域の自然保護及び自然のふれあいの普及啓発活動を推進した。
25	みずべ ひろば 水辺のわらしっ子広場 (山形県)	白川流域の整備計画と子どもたちのための自然体験学習イベントを立案・実施し、行政や学校等とともに、地域の環境と子どもたちの将来を見据えた自然体験活動を展開するなど、自然とのふれあい及び普及啓発活動を推進。

26	みとしりつかみおおのしょうがっこう 水戸市立上大野小学校 (茨城県)	那珂川下流の豊かな自然環境を生かし、学校・家庭・地域が一体となつての自然体験活動や環境保全活動に取り組むことにより、自然とのふれあいや普及啓発活動を推進。
27	よこやま ただのぶ 横山 忠信 (大阪府)	大阪府自然環境保全指導員、森林保全員として、42年の永きにわたって職務を務め、大東市を中心とした生駒山系の利用と保全など、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力。
28	おおすぎだにしぜんがっこう 特定非営利活動法人 大杉谷自然学校 (三重県)	永年にわたり、大杉谷地域の自然や文化を活かした環境教育や自然体験、エコツアー等の実施、人材育成に取り組むなど、自然とのふれあい及び普及啓発活動を推進。
29	しぜんじゅく NGOさんきら自然塾 (愛媛県)	活動の両輪とする野外での定例観察会と屋内での定例環境講座を、毎月1回一度も休むことなく18年間の長期にわたり開催。地元のみならず西四国全域の緑化推進や自然生態系保全を視野に入れて活動するなど、自然とのふれあい及び普及啓発活動を推進。
30	きくま かおる 菊間 馨 (広島県)	永年にわたり、宮島島内に生息するシカ(野生生物)とのつきあい方に関して自然教育活動を行い、利用者のマナー向上に取り組む。また、島外の幼稚園や小学校へ出向き、環境教育や自然体験学習を実施するなど自然保護思想の普及啓発に尽力。

【調査・学術研究部門(5件)】

31	うえだ けいすけ 上田 恵介 (埼玉県)	セッカの配偶システムやカッコウ類と宿主の共進化、鳥類による種子散布など野外における鳥類の行動生態の調査研究に長年従事し、その知見から平成6年より22年の永きにわたり鳥類標識調査の検討委員を務め、平成18年からは座長としてそのとりまとめをするなど、自然環境の調査研究及び普及啓発活動に尽力。
32	たけしげ さとる 竹重 聡 (長野県)	環境省レッドリスト絶滅危惧IB類(EN)である「幻のシダ」といわれるセンジョウデンダの人工栽培に成功するなど、自然環境の調査研究及び普及啓発活動に尽力。
33	ほそや かずみ 細谷 和海 (奈良県)	淡水魚類の分類学、保全生物学及び外来種に関する分野を中心に研究に従事し、淡水魚類の希少種の保護や外来種の影響・対策の分野の研究においては、我が国における先導的役割を果たすなど、自然環境の調査研究及び普及啓発活動に尽力。
34	くまもとやせいせいぶつけんきゅうかい 熊本野生生物研究会 (熊本県)	特別天然記念物ニホンカモシカをはじめ、国や県のレッドデータブックに記載されている動植物を中心に野生動植物の分布調査や生態学的な調査を永年にわたり行うなど、自然環境の調査研究及び普及啓発活動を推進。
35	たばた みつたけ 田畑 満大 (鹿児島県)	永年、在野の植物研究者として、奄美群島を中心に植物の採集・記録・報告等の基礎的な研究活動を行ってきており、新種の発見のほか、多くの島外の研究者の調査研究・論文の執筆に協力するなど、自然環境の調査研究及び普及啓発活動に尽力。